キズナエピソード

朝永 花織　4話

//ADV形式開始

//背景：黒

［花織］

（ウチは自分の気持ちに気づいてしまった。

とびおくんが好き……とびおくんのことが好き。

とびおくんのことが――）

//都立有羽・廊下

［花織］

（あれから、とびおくんのことばかり考えちゃう……。

もう！　どうすればいいの？

とびおくんに会って話したら、何か変わるかな……？）

［とびお］

「ふぁ～あ……。あぁ眠ぃ……」

［花織］

（あ、とびおくん！

こ、声かけなきゃ、いつも通りに……って、いつも通り？

ウチ、いつもどうやって声かけてたっけ？）

［花織］

（って、そんなこと考えてるうちに

とびおくんが行っちゃう！　待って！）

［花織］

「あ、あの、と、とびおく――」

［上級生］

「あー！　やっぱり、花織だー」

［花織］

「へ？」

［上級生］

「いいところで会ったよー。

ねぇねぇ、相談に乗ってよー」

［花織］

（え、上級生!?　いや、たしかこの人は……）

［上級生］

「今度オナチューのうちらの代で集まろうってなっててさ～、

花織が3年で同じクラスだった××君達って、

連絡取れたりする～？」

［花織］

（ど、どうしよう……。

ウチが上級生と仲良く話しているところ、

周りが変に注目しちゃってる……）

［上級生］

「ねぇ、花織～？

うちら中2までオナクラだった仲じゃん！

マジおねおね！」

［花織］

（っ!!　なんで、それを言うのよ！）

［花織］

「そ、そうだね。

……ちょっと場所を変えて話そっか」

［花織］

（……さっきのやり取り、とびおに聞かれてないよね？）

//暗転

//都立有羽・教室

［］

翌日

都立有羽　花織の教室

［花織］

「おはよー……？」

［花織］

（あれ、なんだろう……？

いつもと雰囲気が、違う……？）

［クラスメイト］

ひそひそ……ひそひそ……

［花織］

（みんな何をひそひそ話してるんだろ……？

それに、なんだかさっきから、

チラチラとウチのことを見ている気がする……？）

［クラスメイト］

「えー、ホントなのー？」

「だって昨日、上級生が……」

「……ふ～ん、花織がねぇ」

［花織］

「っ！」

［花織］

（ひそひそ話の中心は……ウチ？

それにちょっと聞こえてきたけど、もしかして……！）

［クラスメイト］

「ねぇ、花織？」

［花織］

「おはよー。なに、どうかした？」

［クラスメイト］

「変なこと聞いてごめんね。

……花織って中学浪人したの？」

［花織］

（っ……やっぱり……）

［クラスメイト］

「昨日、花織と上級生が

仲良く話してるの聞いてた人がいてさ。

花織が上級生と、中学時代は同級生だったって」

［花織］

（やっぱり、誰かに聞かれていたんだ……）

［花織］

（花織、ここで動揺したらダメ。

なにもないように振る舞うんだ……。

普通に……普通に……！）

［花織］

「あ、うん、そうだよ。

ちょっといろいろあってねー」

［クラスメイト］

「じゃあ、やっぱりそうだったんだー。

なんだー、知らなかったよ。

花織……さんも言ってくれればいいのにー」

［花織］

「別に隠す気はなかったんだけどね。

でも言いふらすようなことでもなかったからさ。

……だから、今まで通り花織でいいよ。さんはいらない」

［クラスメイト］

「でも、やっぱり、年上だし……？」

［花織］

「あはは。そんなの言ったら、

早生まれの人とかどうするのよー？

気にしなくっていいって」

［クラスメイト］

「そ、そう？　うん、わかったー。

それじゃ」

［クラスメイト］

ひそひそ……ひそひそ……

［花織］

（中学浪人なんて、珍しがるよね、そりゃあ）

［花織］

（……まぁ、いいよ。

あの時に、もう覚悟はしたんだ。

これくらい、なんともないんだから！）

［花織］

（……なんともないんだ、って振る舞っていれば、

周りも「なんともないんだ」って思うものだよね……）

//ADV形式終了

//4話END